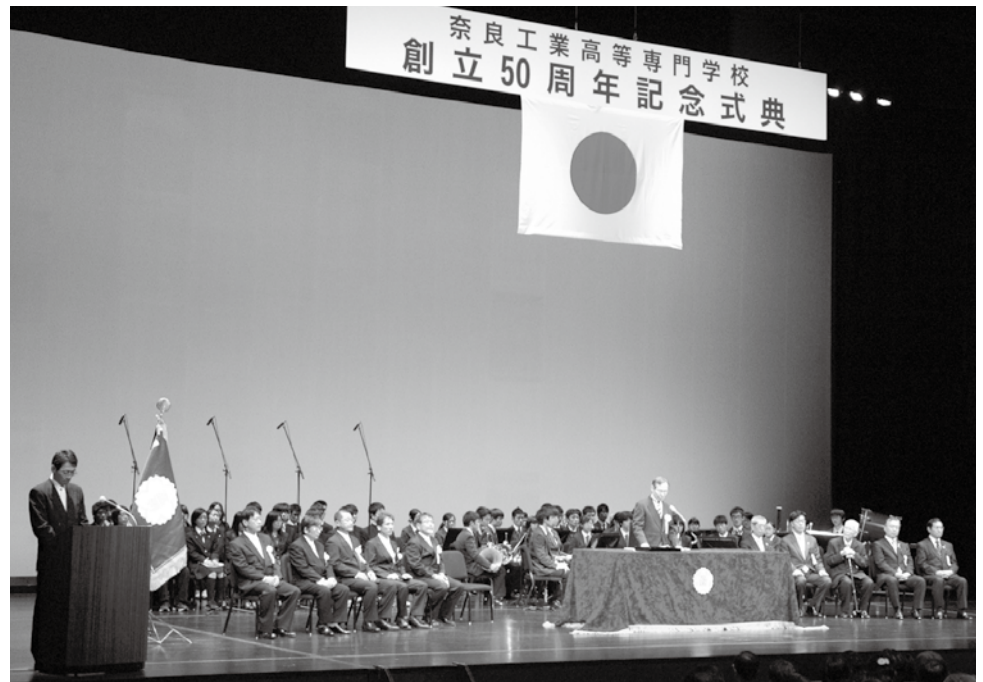


奈良工業高等専門学校創立50周年記念事業

実行委員長 押田 至啓

奈良高専は昭和39年に創設され、平成26年に創立50周年を迎えました。これを機に創設以来の50年を振り返り、将来に向けさらなる本校の発展を目的として記念事業を行ってきました。50周年を記念して平成26年11月1日に、なら100年会館において、来賓、教職員、学生、旧教職員、卒業生、保護者など約1400名参列のもと、「創立50周年記念式典・講演会」を挙行了しました。記念式典では、谷口研二校長が「これから先の50年を見据えて、時代に相応しい高等教育機関にしていくことが責務と考え、その実現に向けて取り組んで参りたい」と式辞を述べ、奈良高専の一層の発展を誓いました。続いて、小畑秀文国立高等専門学校機構理事長の祝辞の後、奥野誠亮元文部大臣はじめ来賓の皆様から祝辞が述べられたのち、出席者全員で校歌を斉唱し、記念式典を終了しました。また、記念式典に先立ち開催された記念講演会では、奈良先端科学技術大学院大学長 小笠原直毅氏を講師に招き、「自然が作り出

した生命システムの働き方を理解する」と題してご講演頂きました。50周年の節目としての記念式典は盛大に終えることができたが、記念事業としては、本校のこれまでの歩みをまとめた「50周年記念誌」の発行やキャンパスの環境整備事業等の事業を引き続き実施していきます。この記念事業を第一歩として奈良高専がさらに発展していくことを願います。



50周年記念式典風景

人権教育推進・いじめ防止対策委員会より

「いじめとハラスメント」

委員長補佐 松井 良明

皆さんは「いじめ」と「ハラスメント」の違いがわかりますか。どちらも重大な人権侵害ですし、それによって被害者は大きな心理的苦痛を感じます。場合によっては、生命や身体に重大な危険をもたらす恐れもあり、決して許される行為ではありません。

「いじめ」は、たとえば学生同士や同僚といった同様の立場にある人間同士で起こる人権侵害ですが、「ハラスメント」は教員と学生、先輩と後輩、上司と部下といった優位な力関係があらかじめ存在する場合に起こる人権侵害です。このような行為は、面と向かって行われるだけでなく、インターネットを介して行われることもあります。

注意しなければならないのは、それが何気ない「からかい」、「悪口」、あるいは「叱咤激励」等に始まり、その行為と感情が次第にエスカレートしてしまうことです。人権侵害が悪い行為であ

ることは誰でも知っているはずなのに、最初の些細な言動がいつの間にか他人をひどく傷つけてしまうことになりかねないのです。

悩みや心配事等のある人はぜひ周りにいる友人や信頼できる大人に打ち明けてください。本校には学生相談室もあります。どうか一人だけで苦しまないでください。

